



伝統と未来が調和し、躍進するまち～彩りあふれる、希望の都心～

千代田区

面積	11.66km ²
世帯数	39,382世帯
人口	68,856人
(うち外国人)	3,958人
予算	696億円
職員数	1,230人

歴史・見所・名所

千代田区が位置するこの地は、徳川幕府の成立から、日本の政治・経済・文化の中心として発展し、維新後の明治 11(1878)年には、千代田区の前身である「麹町区」と「神田区」が設置されました。

その後、昭和 22(1947)年に両区が統合し、千代田区が誕生しました。なお、「千代田区」という名は江戸城の別名「千代田城」にちなんだものです。

千代田区は江戸城の面影を今なお残す皇居のほか、立法(国会議事堂)、行政(首相官邸や霞が関官庁街)、司法(最高裁判所)の三権の主要機関、世界的なビジネス街として発展する丸の内・大手町、落ち着いた景観とたたずまいを見せる番町・麹町、電気街やポップカルチャーの発信地である秋葉原、古書店街の神保町、スポーツ店街の小川町、繊維街の岩本町など、他に例のない多様で特徴ある街並みが形成されています。

また、日本有数の桜の名所である千鳥ヶ淵、歴史と風格を感じられる赤レンガ造りの東京駅丸の内駅舎などの多数の貴重な文化財、江戸三大祭りの神田祭と山王祭などがまちの魅力となっています。

概要

【地理】

千代田区は、23 区のほぼ中央に位置し、中央区、港区、新宿区、文京区、台東区に接しています。また、区には、神田川及び神田川から分派した日本橋川が流れています。区の面積は 11.66km²で、23 区で 19 番目の大きさです。

【人口】

千代田区の人口は、一時 4 万人を割り込むまで減少したものの、平成 12(2000)年を境に都心回帰の流れ等の中で増加に転じ、現在では 6 万 8 千人に達しています。一方で、千代田区は通勤・通学者が非常に多く、令和 2(2020)年の国勢調査では昼間人口は 90 万人を超えています。昼夜間人口の比率は十数倍に及び、全国でも群を抜いています。

【特徴的な施策】

千代田区では、全国で初めて罰則付き路上喫煙禁止を盛り込んだ「生活環境条例」の制定や 23 区内で唯一の区立中高一貫校である「九段中等教育学校」の創設、全国初の幼保一元化園である「こども園」の創設等、独創的で独自性のある施策を実施しています。

主要課題・将来展望

千代田区の人口は、今後も増加が続く見通しで、行政需要も拡大していくことが想定されます。一方、日本の総人口は減少に転じており、経済活力の低下や労働人口の減少などが懸念されます。また、少子高



皇居
区の中央には皇居が位置している。



千鳥ヶ淵
桜の名所である千鳥ヶ淵。緑道には約 260 本の桜が植えられている。



日比谷公園
明治 36(1903)年に開園した日本初の近代的な洋風公園。令和 5(2023)年に開園 120 周年を迎えた。

高齢化、地域コミュニティの希薄化、首都直下地震、地球温暖化など、区民の命や暮らしに直結する様々なリスクが表面化してきています。さらに、国際化の進展や多様性の尊重など人々の意識にも変化が生じています。

こうした社会経済情勢の変化のスピードが一層加速する中、区のあるべき姿を明確にし、進むべき道を示すため、区政運営の最上位に位置付けられる指針である基本構想を約20年ぶりに見直し、令和5(2023)年3月に「千代田区第4次基本構想」を策定しました。

第4次基本構想では、以下の3つの分野別の将来像を掲げ、時代の変化に柔軟に対応しながら、機動的な区政運営を行っていきます。

(1) 自分らしく健やかに暮らし、笑顔で成長しあえるまち

いつまでも元気で充実し、自分らしく心身ともに健康に、安心して生活を送れるまちをめざします。また、生涯を通じて心豊かに学び、成長しあえるまちをめざします。

(2) 集い、つながり、活気ににぎわいのあるまち

人が集まることでつながるきっかけが生まれ、互いに支えあうことができるまちをめざします。また、区内には様々な企業や商店、大学等があります。そうした千代田区の地域特性を活かし、地域経済を活性化させ、誰もが豊かさを享受できるまちをめざします。

(3) やすらぎを感じ、安心して快適に暮らせるまち

良好な環境は、人にやすらぎを与え、暮らしを豊かにし、安全なまちは、人の安心につながります。また、暮らし続けたいと思える住環境は、人々の誇りとなります。身近に触れあうことができる自然と近代的なまち並みの中で、誰もが安心して快適にすごせるまちをめざします。

また、基本構想の実現に向けては、各分野に共通して以下のような考えに基づき、区政運営を行います。

(1) 変化の激しい時代への柔軟な対応

効率的・効率的な行財政運営に努めるとともに、新たな技術や民間活力も積極的に活用しながら、様々な課題に柔軟に対応していきます。

(2) 多様性を尊重し認めあう社会づくり

豊かな地域社会を持続可能なものとするため、多様性を包摂する社会づくりを推進します。また、国際都市東京の中心である千代田区として、国や文化などの多様性を尊重し、人権や平和を守る取組みを進めていきます。

(3) 参画・協働の推進

区と区民が一体となって将来像を実現していくため、区民に対する情報発信を適時適切に行い、区政への区民の主体的な参画を推進していきます。また、区民の様々な意見を尊重し、区民からの理解を得られるよう努めます。さらに、区民、事業者、他自治体など、様々な主体との連携、協働を推進し、地域課題の解決や新たな活力の創出に繋げていきます。

【地方との連携】

千代田区は、群馬県嬬恋村及び秋田県五城目町と姉妹提携を結び、交流事業を行っています。また、地方とお互いの強みを活かし、相互に補完し合い、ともに発展していくことをめざして、5自治体と連携協定を締結し、災害時の相互応援協力などを含めた継続的な協力関係を構築しています。

加えて、地域連携による再生可能エネルギーの活用を目的として、「e.CYCLE CHIYODA」と称し、脱炭素化へ向けた連携協定等を結ぶ自治体地域で発電された再エネ電力を、区内事業者が利用できる仕組みを構築しました。売電益の一部を還元するなど、連携地域の活性化にも貢献しています。



神保町
古書店が立ち並び、カレーの街としてもにぎわっている。



秋葉原
電気街やポップカルチャーの発信地として知られる。